

新宮ライフセービングクラブ ミーティング レジюме

平成 25 年 3 月 8 日 19 時 00 分～

そびあしんぐろ グループ学習室 2

出席者：檜山・鈴木・大北・田原・本部・長野

ミーティングは意見や希望、考えを自由に出し合う場です。決定事項ではありません。

1 JLA 九州支部ミーティングについて

- ・参加: JLA 事務局長、九州支部長、大分・九産大・新宮・福岡・宗像 LSC
- ・支部の役割: 地域行政等との連携、講習会開催、指導員推薦、競技会開催・誘致、標章使用・規定遵守周知
- ・現行会員制度の課題: 会費歳入の低率、会員数低迷、会費のみでは赤字、協賛企業のリスク
- ・会員制度: 資格保持区分、ユニフォーム区分、傷害保険付帯、学生会員区分など検討中。
- ・H25 年度スケジュール: 6/22 海辺の溺水事故防止シホ、御宿競技集中、mtg 増加、WCDFP2013(ドイツ)など

2 来年度について

- ・組織化、制度化、具体的なスキルアップ法、歳入アップ。精査していくべき。
- ・体系的な教養方法の模索・検討が必要。パトロールに関して要綱を作成してはどうか？
- ・年間スケジュールで意識付け・予定把握。予定たてやすい。
- ・ポスター・チラシ等で広報。スポーツクラブの掘り起こし。メンバー母数の増大。
- ・ただ人数が増えれば良いわけではない。定着するメンバーを求む。またその育成。
- ・コンテナを更に便利に使いやすく。資器材愛護を広く。
- ・死亡事故ゼロへの教育・認識を考える。共通目標への認識。
- ・映像・画像などで視覚的に再認識。過去の事件事例検討会。
- ・年に 1・2 回程度参加のメンバーはメンバーといえるのか？管理・継続できぬならば排除も検討。
- ・ヤル気あるけど本当に来れない人とシーズン 1・2 回来て LS のつもりの人との区別は必要。
- ・参加率が高い人が金銭負担多く、参加率が低い人が金銭負担少ない不平等は避けたい。
- ・育成プログラムを作成し、ハードルを少しだけ上げる。(社会人・大学生・専門学生などクラス別も)
- ・メンバー確保→定着させる。定着しないメンバーにはハードルも検討。全体の士気が下がらぬよう。
- ・3 月に JLA+保険費、9 月にクラブ会費など検討してみても？運営上、安定歳入・会費収入は不可欠。
- ・新宮 LCT シャツはもっと目立つ方がよい。一般客に紛れ込む。背中にロゴなど。
- ・入会当初、何をすればいいのかわからなかった。
- ・ベーシック受講はいつ・何を・どうやって受講すればよいのか新規メンバーは不明。広報を。
- ・ベーシック開催日程は検討すべき。4 日連続開催は、現状福岡では社会人も学生も厳しい。
- ・ベーシック開催はもっと柔軟な日程での開催を希望する。

3 その他

- ・竹製寄付金箱: 現時点で 18 事業所へ設置。
- ・メンバー内の交流: 個人的繋がりがある人は参加率高。繋がり輪拡大と繋がり輪数量増。